

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：事務局費

## 事業名【新】魅力ある県立学校づくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画係 電話番号：058-272-1111(内8519)

E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,885 千円 (前年度予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,885	0	0	0	0	0	0	0	1,885
決定額	1,885	0	0	0	0	0	0	0	1,885

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

今後の急激な生徒数減少に加え高校授業料無償化などにより、公立高校には多様な教育機会の実現として、探究・文理横断・実践的な学びの充実、グローバル人材やDX・AI・コンテンツ産業等の人材育成、専門高校の機能強化・高度化、普通科改革等を通じた高校の特色化・魅力化が求められている。そのため、今日的な教育課題について幅広く意見を聴取し議論することで、特別支援学校を含めた魅力ある県立学校づくりを目指す必要がある。

また、これまでも県教育振興基本計画に基づいて高等学校の活性化に取り組んでおり、引き続き、地域と一体となって学校の活性化に取り組んでいく必要がある。

### (2) 事業内容

適正な入学定員設定や学科改編等、高校の具体的な活性化策の計画・発表や、県立高校の広報など、これまで行ってきた活性化策を継続、発展させるとともに、外部有識者等からなる「特色と魅力ある県立学校づくり懇話会」を設置し、今後の県立学校の将来像について様々な視点から検討する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	840	懇話会委員謝金
旅費	401	懇話会委員費用弁償、業務旅費
需用費	624	資料作成に要する経費、会議に要する費用、印刷物作成費用
役務費	20	電話代、郵便代
合計	1,885	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第4次岐阜県教育振興基本計画」（計画期間：令和6年度～令和10年度）

施策IV 「学びの多様なニーズに答える環境」の充実

20 将来を見据えた魅力ある学校づくりの推進

(2) 国・他県の状況

「三党合意に基づくいわゆる高校無償化に関する論点の大枠整理」（令和7年6月11日 自由民主党・公明党・日本維新の会 無償化を含む、多様で質の高い教育の在り方に関する検討チーム）において、『公立高校などへの支援の拡充を含む教育の質の確保として、国が示す高校教育改革に関する基本方針（高校教育改革に関するグランドデザイン（仮称））を踏まえ、都道府県が作成する計画（高校教育改革実行計画（仮称））に基づく高校教育改革やそれに伴う施設の老朽化対策等の教育環境の整備を計画的かつ円滑に実施できるように交付金等の新たな財政支援により支援する仕組みづくりが必要』とされている。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

各学校の活性化を歩みを止めず継続しながら、懇話会において意見聴取等を行い、懇話会での議論が終了次第、県立高校の今後の方向性について報告書を取りまとめる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

意見聴取が目的であるため指標は設定しない。

また、活性化の継続・発展についても、その年の生徒の特質等、複雑な要因が絡んでおり、指標とすることは適さない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 5 年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 6 年度	<p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は、令和7年度中に公立高校の将来的な在り方を示す高校教育改革に関するグランドデザインを策定する方針であり、本県においても、国の方針に基づいた計画策定のためのより具体的な議論が必要である。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議での意見も踏まえ、高校改革の具体案の検討を継続する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など		